

奥田諫山 おくだ けんざん 漢學者。文久二年八月一日備後國福山生れ。明治二十三年七月一日歿（一八六二—一九〇〇）。諱謙、字文學、通稱吉次郎。別號書城齋。初の書福山藩儒田村三宜公學ぶ。明治十一年郷賢興讓館公入り坂田警軒公師事。のち九州公赴き三谷口藍田公入門、都講となる。次々上京、三島中洲の松學舎に學び、中洲囑して房長とした。渡清後二十一年京都同志社に聘せられ講師、二十二年郷賢公戻り教授、爾後館長として經營に盡力も、病を獲て郷里に歸養後歿す。

『諫山遺稿』（大正二年刊）。



宏者も吾性去遠
 程のまゝ流るる様
 春風三十西橋
 竹波茶未吟松非
 三三年 諫山